

事業所名

児童支援事業所まなびやかけはし

児童発達支援 支援プログラム

作成日

令和 6 年 7 月 1 日

法人（事業所）理念		手をかけて 声をかけて 心をかけて こども達の未来と地域へのかけはしとなります。					
支援方針		お子様の年齢や発達段階に応じた身体機能や社会性の向上に繋がられる様に少人数（3～5名）のグループ療育で 2時間の療育時間を前後半に分けて前半にビジョントレーニングを交えた運動療育 後半では認知課題や手指動作課題を提供しています。 運動療育では粗大運動機能の向上だけでなく 目と手の協応性や発語の遅れにも効果が現れ 列に並び、順番を守る、勝ち負けに拘らない等 ルールやマナーの理解にも繋がります。就学前までに書字や読字・数字と数の概念形成や聞く力の向上へアプローチを心がけています。					
営業時間		9 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	手洗うがい、トイレトレーニングや靴の履き方、身支度など発達段階に応じて日常で必要な事から その子自身が自立してできることを増やします。お箸の使い方や書字に繋げる為に肩、肘、手首の可動域を広げ より微細な手指動作へのアプローチへと段階を踏んだトレーニングを 楽しみながら取り組める様に工夫した課題提供を行っています。					
	運動・感覚	原始反射統合運動を取り入れ姿勢の維持やボディイメージの獲得 バランス感覚の向上 触覚・聴覚など様々な感覚過敏の緩和を目指しています。 遊びを交えたビジョントレーニングを行うことで目と手の協応性や距離感、空間認識力、対象物を目で追う力、注視する力が向上に繋がります。 また運動サーキットや鉄棒を行いながら体幹を整え体の上下・左右の分化に繋げ基礎運動能力を高めます。					
	認知・行動	場面の切り替えができない、思い通りにならない時に癇癪で訴えてしまう等の困り感に対して タイムタイマーや行動ボード、絵カードを使い見通しを立てて行動できる環境作りをし運動サーキットやゲーム、遊びを通してルールやマナーを守る 少人数のグループで幼児教育教材を使って数字や数の概念形成や書字・読字に繋げる遊びやゲーム等を通して理解に繋がっています。読み聞かせやフラッシュカード等を使い「聞く力」や「集中力」「短期記憶」の向上へアプローチしています。					
	言語 コミュニケーション	発声の機能があっても発語が出ない 発音が不明瞭で何を言ってるか聞き取れない等に対して 粗大運動やお口の体操や発声練習等で身体機能レベルからの向上を目的とした遊びやトレーニングを取り入れています。 少人数の関りの中で要求表現や気持ちの伝え方など理解できるよう絵カードや その場の状況にあった声の大きさや遊びの誘い方・断り方・挨拶を子供のレベルに合わせ視覚支援を交えて行います。					
	人間関係 社会性	玩具や道具の貸し借り、順番を守る、ルールを守る 指示に応じることができる等 集団の中で必要なスキルが身に付く様に 少人数での遊びや活動体験の中で練習をします。自分の気持ちを相手に伝え 相手の気持ちを聞き折り合いをつけ方や感情のコントロールの仕方を学びます。 段階に応じて他児と協力して達成する課題なども提供しています。					
家族支援		家庭での困り感などその都度 個別面談や電話やlineなどで相談対応します。朝の身支度やお片付け等 家庭でのルーティンがスムーズに行えない等について家庭訪問し環境整理のお手伝いや行動ボードの作成をいたします。		移行支援		保育園・幼稚園へスムーズな登園が出来る様に支援します。保育園・幼稚園との情報共有を行います。	
地域支援・地域連携		保育園・幼稚園の担当者と連携をとり いつでも見学訪問して頂ける様に対応しています。関係機関との情報共有など連携をします。		職員の質の向上		毎月の会議・勉強会の中で 支援方法の見直しや対応の仕方について検討しています。 定期的な研修会を開催しています。	
主な行事等		お誕生日会・夏祭り・親子参加運動会・ハロウィン・クリスマス会					